

SOSiLA海老名

神奈川県海老名市

設計・監理／浅井謙建築研究所
施工／熊谷組



南西側俯瞰

設計主旨

海老名市近郊は首都圏から40km圏内に位置し、近年物流適地として大型物流施設が相次ぎ建設されている。計画地は土地区画整理事業地内にあり、今後工業系の新市街地が形成される地域である。また、海老名市を縦断する国道46号線に隣接し、圏央道「海老名IC」および東名高速道路「海老名JCT」へ容易にアクセスが可能であり、都心配送、広域配送共に適した立地にある。

施設計画として、住友商事株式会社が提供する「SOSiLA」のブランドコンセプト「人と社会をつなぐ物流施設」および、幅広いセクターに対応するための「次世代SOSiLA」を実現すべく下記の計画を行った。

SOSiLA海老名は市街地に立地していることから、周辺環境への影響を最小化すべく、シングルランプウェイ型中央車路方式を採用した。建物構成は4階建て最大10テナント区画に対応したマルチテナント型の「都市型物流施設」である。

多様な荷主業種に対応すべくバース部の奥行きを16.0mスパン（3階）とし、45ftトレーラー対応としている。また、バース部は低床仕様（3階）にすることにより、飲料スペック



北東側外観

にも対応可能な設計となっている。さらに、1階の一部区画はチルド温度帯に対応した床下断熱仕様となっている。

倉庫部の高い基本性能以外にも「事業継続性（BCP）の対応」として停電時を想定した非常用発電設備の設置や、浸水を想定し受変電設備の上階設置を行っている。

また、「働く環境の向上」として建物内にはクルーラウンジやドライバー休憩室の設置、屋外にはポケットパークを設置し、より快適に働ける環境づくりを意識した。

ランドスケープにおいては、四季の移ろいが感じられる豊かな沿道景観の創出や、緑地の一部開放など、環境への配慮とともに「地域

との共生」に寄与している。また、「地球環境との共生」の一環として屋根には、太陽光発電システム、屋上緑化パネルを搭載している。

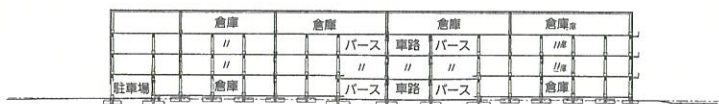
構造計画

本建物の上部構造は、倉庫エリアが柱RC造一梁S造のハイブリット構造、中央の車路、トラックバースエリアが柱、梁ともにS造の4階建てである。柱RC一梁Sの接合部は「熊谷式柱RC梁S構法」を採用している。架構形式はX・Y方向ともブレース付ラーメン構造で、1～3階は座屈拘束ブレースをK型とし、最上階は引張ブレースを配置することで、地震時の変位を低減する構造とした。

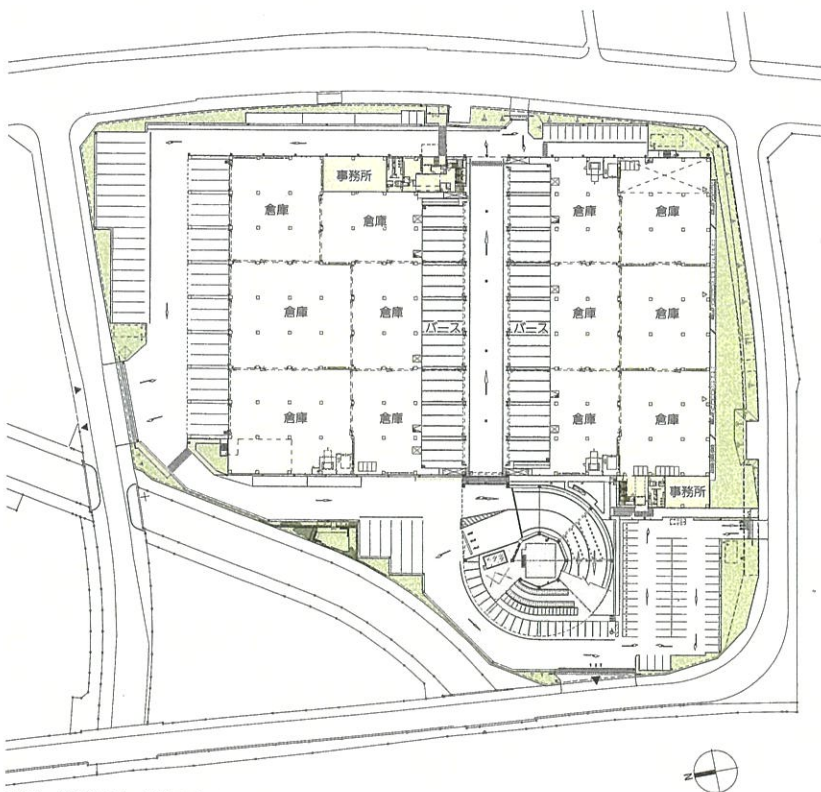
（浅井 謙／浅井謙建築研究所）



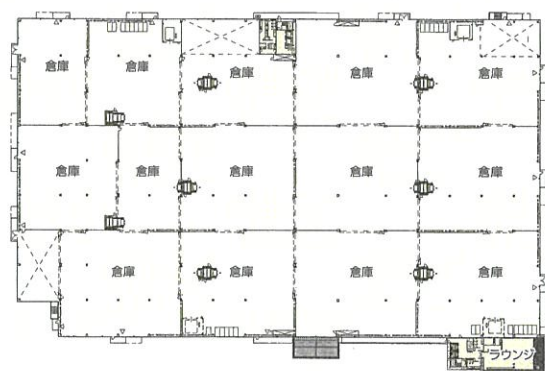
左上/東側エントランス 右上/西側エントランス 下/ラウンジ



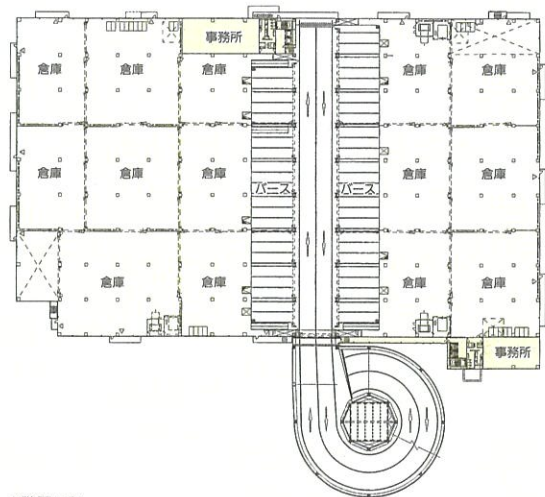
断面図 縮尺 1/2,500



配置・1階平面図 縮尺 1/2,500



4階平面図



2階平面図

施工計画

本建物は、ボーリングデータより直接基礎とし、基礎下は支持地盤まで地盤改良（MMB工法）で進め、南から北に向かい施工を行う計画とした。その後、南側より掘削を開始、外部への搬出残土の数量を抑えるため、残土は場内へストックして、基礎躯体の完了後に埋戻しで使用する計画とした。基礎躯体工事では、基礎配筋を地組を行い、200tクローラークレーンにてセットする計画とした。基礎型枠の外周面は普通型枠、内部側はラス型枠を採用した。埋戻し完了後、1階の床の施工に入り、床の打設範囲は1,000～1,500㎡で計画し、打設後に床面の散水養生を5日間行う計画とした。



上/東側エントランスアプローチ 下/ポケットパーク



浅井 謙……あさい けん
1940年大阪府生まれ。1959年大阪市立都島工業高等学校建築科卒業、同年日建設計入社。1986年浅井謙建築研究所設立。現在、同社代表取締役会長



藤澤 英樹……ふじざわ ひでき
1967年兵庫県生まれ。1990年関西大学工学部建築学科卒業、2006年浅井謙建築研究所入社。現在、同社執行役員大阪第1計画室室長



中田 勉……なかつ たつむ
1972年大阪府生まれ。1999年大阪工業技術専門学校建築学科卒業、2006年浅井謙建築研究所入社。現在、同社大阪第4計画室 室長



岩田 和哉……いわた かずや
1988年大阪府生まれ。2013年大阪大学大学院工学研究科建設工学科卒業、2013年浅井謙建築研究所入社。現在、同社計画室チーフ

間行う計画とした。

地上の躯体工事は、柱RC現場打+梁Sのハイブリッド工法で行い、計画した工区割で地組した柱の鉄筋をクレーンでセット、その後、柱のシステム型枠をセットし、柱コンクリートの打設、システム型枠の脱型、梁の鉄骨建方と積層で躯体工事を進めた。スラブコンクリート打設後養生期間をとり、上階の柱躯体の施工へと繰り返しの作業となる。

積層工法のため、天候で左右された日も多く、工区毎の工程調整、変更は苦労したが、協力業者と一体となり大きな事故もなく進めることができた。

（北島達也／熊谷組）



建方時の様子



北島 達也……きたばたけ たつや
1965年福島県生まれ。1988年東京理科大学理工学部建築学科卒業、同年熊谷組入社。現在、同社首都圏支店作業所長

SOSILA海老名 データ

所在地 神奈川県海老名市新田5-18-1

主要用途 倉庫業を営む倉庫

事業主 住友商事株式会社

設計・監理 浅井謙建築研究所

担当/総括：浅井 謙 建築：藤澤英樹、中田 勉、岩田和哉 設備：北隅秀夫、佐藤 浩、浦岸利行、岡本 徹、肥土 江 監理：中島明彦、宮澤孝之

構造 熊谷組一級建築士事務所

担当/梅田正芳、北山裕人、高橋伸輔

施工 熊谷組

担当/所長：北島達也 副所長：長尾勝也

設計期間 2017年11月～2018年11月

工事期間 2018年12月～2020年2月

【建築概要】

敷地面積 33,816.68㎡

建築面積 20,897.87㎡

延床面積 77,231.11㎡

倉庫総面積 55,633.06㎡

事務所総面積 1,792.01㎡

建ぺい率 61.80%（許容70.00%）

容積率 199.40%（許容200.00%）

構造規模 S造、耐震構造、地盤改良（マルチミキシング）

バケット工法+ランドガード工法）地上4階

床耐荷重 1.5t/㎡（1・2階）、1.8t/㎡（3・4階）

最高高さ 29.637m

軒高 29.05m

階高 6.80m（1～3階）、6.00m（4階）

天井高さ 倉庫：5.5m（梁下有効）事務所2.8m

主なスパン 11.5m×10.5m

構成 1～3階：自走式ランプ形式、中央車路パース

配置計画 大型車は北側より入場、中央車路は西側より進入

トラックパース数 141台

駐車台数 普通車：99台 大型車：17台 45ft車：12台

ピロティー駐車場：24台

ランプウェイ 直径49m 45ftトレーラー双方向通行

想定最大車両サイズ 45ftトレーラー

プラットフォーム 高さ1.0m 一部ドックレバラー付

奥行き（通芯間寸法）1・2階：14.0m、3階：16.0m

トラックヤード庇奥行（通芯間寸法）1階ピロティー車路：13.5m

道路幅員 東側：22m、南側・西側：12.5m、北側：15.9m（全て歩道含む）

地域地区 海老名運動公園周辺地区土地区画整理事業

【設備概要】

電気設備 受電方式/6.6kV 1回線受電方式 屋外キュービクル 変圧器容量/1φ900kVA 3φ4,800kVA

予備電源/低圧300kVAディーゼル機関 A重油

空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプマルチパッケージエアコン 熱源/電気

衛生設備 給水/受水槽+給水ポンプユニット 給湯/貯湯式電気温水器による局所給湯 排水/汚水・雨水分流式、公共下水道へ放流

防災設備 消火/屋内消火栓、屋外消火栓、消防水利、消防用水、泡消火設備、移動式粉末消火設備、連結送水管設備 排煙/自然排煙 その他/自動火災消火設備

昇降機 荷物用3.5t×3基、5.6t×1基、乗用15人×4基

特殊設備 垂直搬送設備 積載荷重2t×10基

環境対策 CASBEE Aランク

【主な外部仕上げ】

屋根 ガルバニウム鋼板（二重葺断熱折板）

外壁 金属サンドイッチパネル

建具 スチール製シャッター、アルミサッシ、スチールドア

外構 半たわみアスファルト舗装

【主な内部仕上げ】

倉庫 床/コンクリート金コテ押えのうえ、浸透性表面強化剤 壁/外壁：金属サンドイッチパネル 内壁：ALC t100、125（1-3階）強化石膏ボード二重貼 t21（4階） 天井/デッキプレート表し

事務所 床/タイルカーペット 壁/ビニルクロス 天井/岩綿吸音板

協力会社

電気設備工事	きん で ん
機械設備工事	アベックエンジニアリング
昇降機設備工事	守谷輸送機工業
垂直搬送機	オムニョシダ
工事用電気設備工事	互光電気
地盤改良工事	リ ア ス
型枠工事	館工務店
鉄骨工事	三笠エンジニアリング
鉄骨階段工事	成田鉄工所
ファブデック・PCa鉄骨・プレス工事	伊藤忠丸紅住商テクノスチール
鉄筋工事	石山鉄筋
クレーンリース	竹中重機
金属工事	幸栄工業
自動ドア工事	フルテック
防水工事	益田工務店
シーリング工事	関口シーリング
塗装工事	鈴木建装
内装工事	セ ン ダ
ガードポール・フォークガード	藤田商事
外構工事	日本道路
養生・クレーニング工事	京 浜
交通誘導警備	清水総合ビジネス